

<北区内の水稻を調査しました>

1 病害虫について

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
葉いもち病	少	やや多	ほとんど見られません	斑点米カメムシ に対し、薬剤の 適期散布を心が けましょう。
縞葉枯病	無	並		
紋枯れ病	少	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	少	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	ほとんど見られません	
トビイロウンカ	少	やや少	一部地域で確認されました	
ツマグロヨコバイ	少	並	一部地域で多く発生しています	
斑点米カメムシ	中	やや多	一部地域で幼虫が多く見られています	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚(中以上で要防除)

2 生育状況について

品種名	出穂	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ	コシ・キヌ やや早い	早期落水は白未熟粒(シラタ)・死米・胴割れ・充実不足の原因になります。間断かん水を続け、早期落水は避けましょう。
山田錦	並	斑点米カメムシの被害が懸念されます。薬剤防除を実施してください。

3 今後の管理について

8月上旬まで圃場内での害虫発生はほぼ見られませんでした。今回の調査で斑点米カメムシの幼虫が多発している地域が確認されました。ヒノヒカリや山田錦の斑点米被害が懸念されます。スタークル粒剤(又は豆つぶ)等を出穂後に散布し、被害を抑えるよう努めましょう。

9月になりますとコシヒカリ、キヌヒカリの収穫時期になります。「平均的な穂の充実した籾の85%が黄化したとき」が、刈り取り適期となります。早刈り、遅刈りを避け、適期収穫に努めましょう。

今年度の定期的な病害虫発生予察は今回で終了です。今後の気象条件で重要病害虫の発生が予想される場合は、臨時で予察調査・情報提供を行います。

お問合せ先 J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL: 078-981-5540

FAX: 078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

1 病害虫について

現状、問題となるレベルでの病害虫発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
葉いもち病	少	やや多	ほとんど見られません	緊急の対策は必要ありません。ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
縞葉枯病	無	並		
紋枯れ病	少	並	一部地域で確認されました	
セジロウンカ	少	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	一部地域で若干見られる程度	
トビイロウンカ	無	やや少		
ツマグロヨコバイ	少	並	一部地域で若干見られる程度	
斑点米カメムシ	少	やや多	一部地域で発生しています。	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚(中以上で要防除)

2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ	並～ やや高い	並	コシ・キヌ：出穂～穂揃い期の湛水管理、それ以降の間断灌水など水管理に注意してください。
山田錦			山田錦：穂肥の時期を迎えています。それぞれのほ場での幼穂の長さを確認し、適期施用を行いましょう。

3 今後の管理について

8月になり、連日の高温によって出穂後も水田の地温が下がらず、乳白米等の発生や粒張りの悪化が起きやすい状況です。特にキヌヒカリへの悪影響が懸念されています。可能であれば夕方に水を入れ替え、地温を下げるよう心がけてください。

山田錦ほ場について、中干し期間の天候により十分に中干しができなかったことから、現在も中干しを継続しているほ場が見られます。穂肥診断から、今年の山田錦の出穂期は25日～28日頃と予想されています。これからは、稲には水が必要な時期ですので、暦を参考に出穂期までの間断灌水、出穂期の湛水管理により健全な穂の生長を促してください。

次回の調査予定日は、令和元年8月23日(金)です。

お問合せ先 J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL: 078-981-5540

FAX: 078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

1 病虫害について

現状、問題となるレベルでの病虫害発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病虫害	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	無	並	一部地域で発生しています。	緊急の対策は必要ありません。ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
縞葉枯病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	少	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	幼虫が若干みられる程度です。	
ツマグロヨコバイ	少	並	幼虫が若干みられる程度です。	
斑点米カメムシ	少	並	一部地域で発生しています。	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚（中以上で要防除）

2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	今後の栽培管理について
コシヒカリ キヌヒカリ	やや短 ～並	並	コシ・キヌ：斑点米カメムシの幼虫が確認されています。畔草の刈取は出穂の2週間前までに行ってください。出穂期に畔草刈を行うとカメムシを本田に侵入させることになり、斑点米の原因となりますので注意してください。
山田錦	やや低	並	ヒノ・山田錦：今後、山田錦は幼穂形成期に入ります。中干しを終え、出穂期まで間断灌水を実施しましょう。

3 その他

山田錦の穂肥診断を目的とした見学会を、各地域の見本圃場にて8月上旬に開催いたします。後日案内が郵送されますので、ご確認の上ご参加ください。

次回の調査予定日は、令和元年8月6日（火）です。

お問合せ先 J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL：078-981-5540

FAX：078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

1 病害虫について

現状、問題となるレベルでの病害虫発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	無	並		緊急の対策は必要ありません。 ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
縞葉枯病	無	並		
セジロウンカ	少	並	ほとんど見られません	
ヒメトビウンカ	少	並	ほとんど見られません	
ツマグロヨコバイ	少	並	ほとんど見られません	
ニカメイガ	無	並		
斑点米カメムシ	少	並	一部地域で成虫を確認しました	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚（中以上で要防除）

2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	概況と今後の対策
コシヒカリ キヌヒカリ ヒノヒカリ	並	やや多い	生育は平年並みですが、茎数は昨年よりも多めの傾向があります。茎数を確認し、栽培暦に準じて中干ししてください。
山田錦	並	並	夜温が下がらなくなり、急速に分げつが増える時期です。こまめに茎数を確認の上、栽培暦に準じて中干ししてください。

3 「中干し」について

①「中干し」の効果

- ・土中の有害ガスを抜き、酸素を供給することで、根を健全に保つ
- ・根の活性を高め下層への根の侵入を促す
- ・無効分げつの発生を抑え、稲のむだな生育を抑制する
- ・土壌の硬度を高め、コンバイン作業の能率が高まる

②「中干し」のポイント

- ・目標茎数 20本の8割（茎数 16～17本）で開始する
- ・軽くひび割れる程度とし、根を切るほど強く行わない
- ・出穂の30日前には終え、出穂1週間まで間断かん水とする

※栽培暦を参考に行ってください

次回の調査予定日は、令和元年7月19日（金）です。

お問合せ先 J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL: 078-981-5540

FAX: 078-981-5817